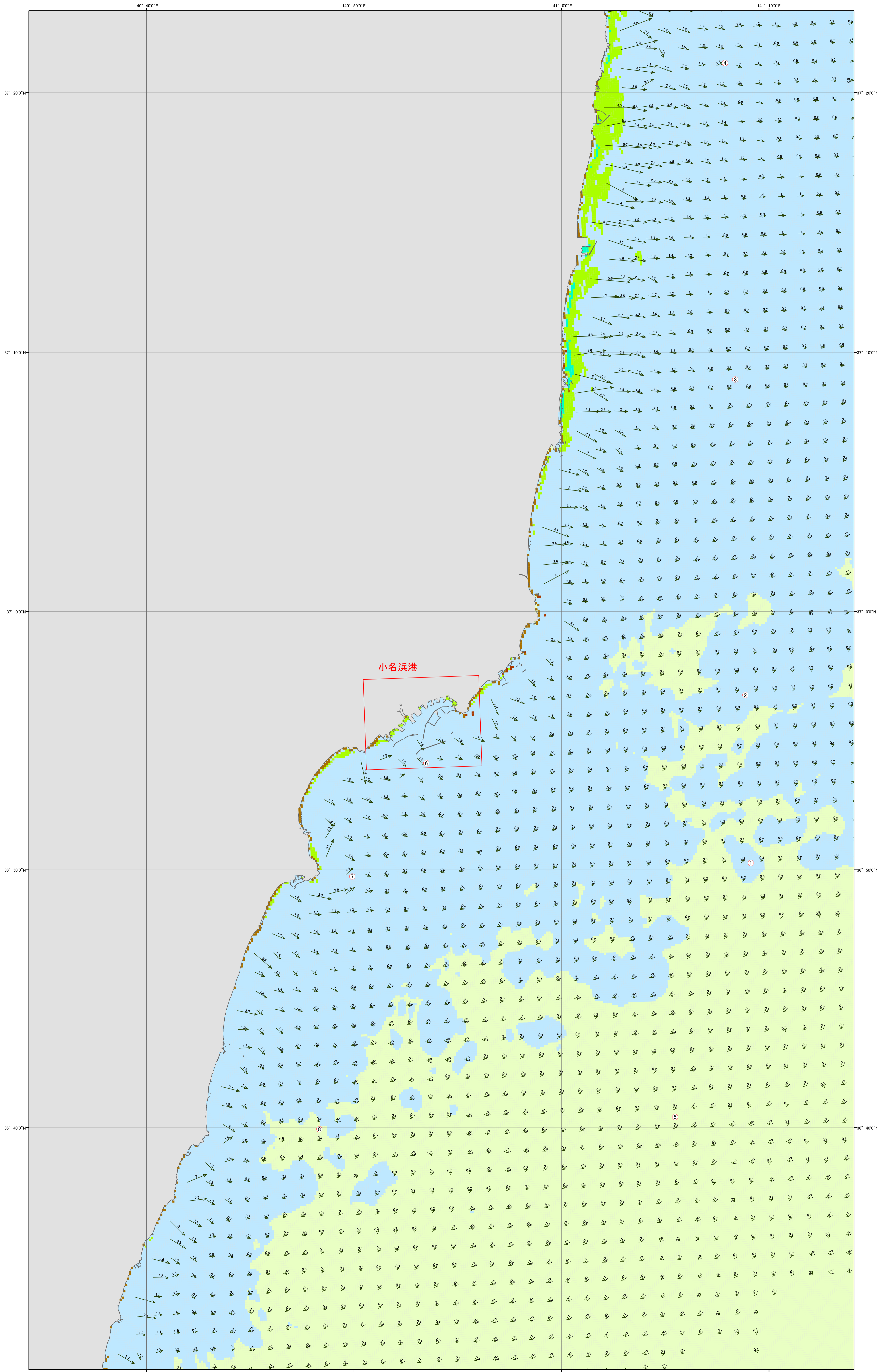


計算条件：最低水面（零位）  
隆起量：平均 -0.01m  
Zo：0.84m  
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。

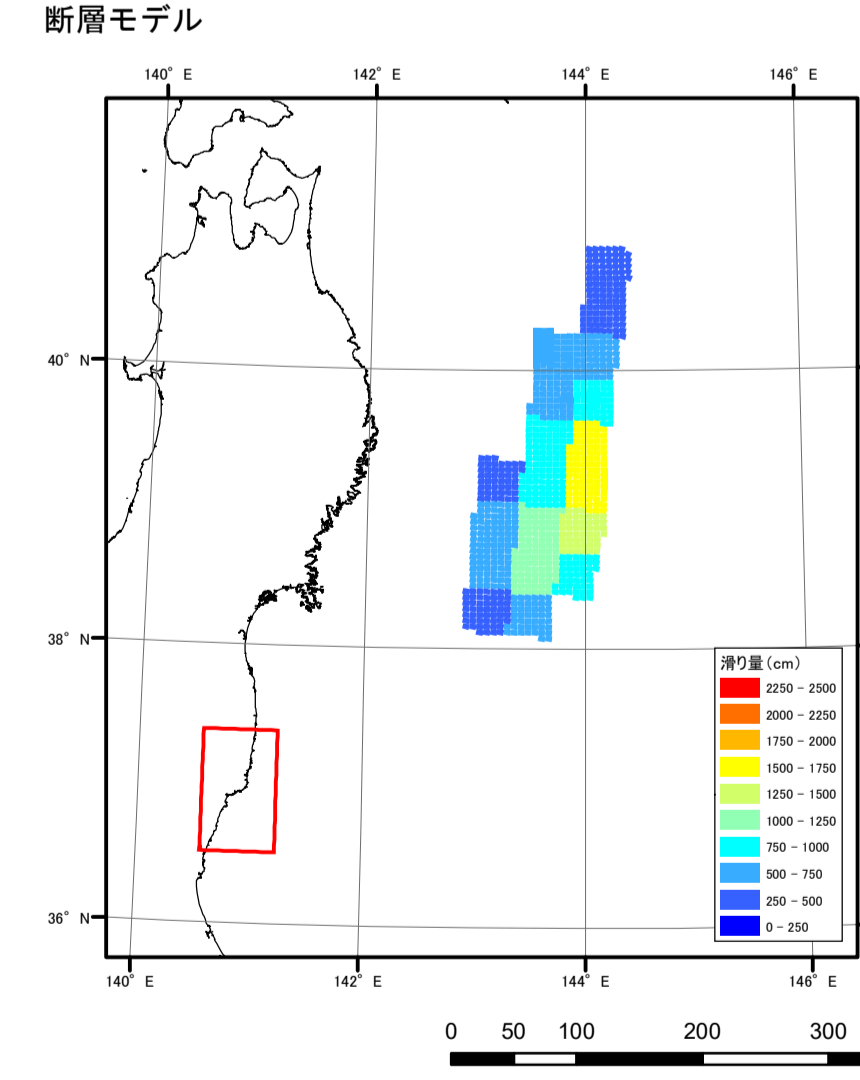


凡例

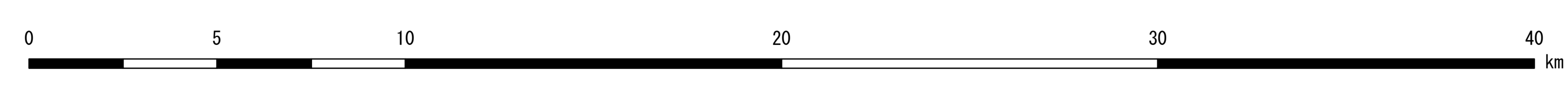
- 最大水位低下
  - 3~最大4.0m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
  - 干出域
  - 露出域
- 経時変化図出力点  
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
- (R) 水位、流向、流速経時変化図

- 引潮時最大流 (knot)
  - 3 knot
  - 2 knot
  - 1 knot

- 流向、流速については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。



本断層モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁  
防波情報制作係長：平塚 浩二 (初版)  
地理学データ作成年月：平成29年1月 (初版)